



生徒の皆さんへ校長メッセージ 5月9日（火） No.2

【生徒会スローガン】

Over the Horizon ~新たな景色へ~

今が大事、今をどう生きるかで、未来が変わる、運命が変わる！！

あすがある  
あさってがあると考えている間は  
なんにもありはしない  
かんじんの  
「今」さえないんだから

東井義雄



“Over the Horizon” 自分の限界を超えようとするとき、物事を先延ばしにしてい  
ては何も変わりません。

やればできるけど、今はやる気がしないからと、物事を先延ばしにしてい  
ては、いつ  
までたってもやる気はおきません。そういう時は、調子は乗らなくても始めること  
です。  
そうすれば、時間の経過とともにやる気が徐々に出て調子が上がってきます。そうす  
ればしめたものです。

やる気を作り出す、気持ちに目がいき過ぎると動きがついてきません。先ず動きをつ  
くって、気持ちを高めることが大事です。

為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり

#### 【意味】

できそうもないどんなことであっても、強い意志を持ってやり通せば必ず実現でき  
る。結果が得られないのは成し遂げようと思って行動しないからだ。

「一念岩をも砕く」と同じ意味合いです。

江戸時代の大名であった上杉鷹山（うえすぎ ようざん）（1751年～1822年）が、家臣に教訓と  
して読み与えた歌です。

上杉は財政危機に陥っていた藩を経営改革により立て直した人物です。アメリカのジョン・F・  
ケネディ元大統領が、もっとも尊敬する日本の政治家として名前を挙げたこともありました。

「Where there's a will, there's a way.」があります。「意志あるところに道あり」「意志  
あるところに道は開ける」という意味です。

皆さんも校訓の「独往自立」の精神をもって、自分の意思で道を切り開いていきましょう。

裏面に続く

## 気持ちは、いろんな所に現れる

体育館前に揃えられた靴とカバンの様子です。見た目に美しいだけでなく、引き締まった精神性さえ感じます。勝負の世界は、1点の違いで勝ち負けが決まる厳しい世界です。相手に勝とうと思えば、まず自分に勝たなければ相手には勝てません。

自分に勝つとは、克己とも言います。少しぐらいいいやとかいう甘え、緩みに打ち勝つことでもあります。甘えや、緩みは少しずつ増大していき、たるみや怠けにつながっていきます。そうした状態で、いくら練習しても上達はしません。自分に厳しくできるか、チームとして適度な緊張感をもって練習に取り組んでいるか、春季体育大会が目前に迫った今、振り返ってみましょう。

日々の練習に向き合う姿勢の真剣さが、勝った時の喜びの大きさや、負けた時の悔しさの深さに比例します。真剣さが大事です。



左下のトイレのスリッパの写真は、4月下旬のある学年トイレの様子です。みんなが使うスリッパそろっていると、気持ちよいし、次の人も履きやすいですね。ささやかな日常の中に、チャレンジ目標「自他の幸せを考える」実践があります。



『はきものをそろえると  
こころもそろろう  
はきものもそろろう  
ぬぐとときにそろえておくと  
はくとときに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら  
だまって  
そろえておいてあげよう  
そうすればきつと  
世界中の人の心も  
そろおうでしょう』

## 心を育み、脳を活性化する読書

生徒の皆さんに、ぜひ読んでほしいと思う本です。中学生の時に、この本に出会えていればと思いました。伝えたい内容が、短くコンパクトに24の項目にまとめられています。読み終わると、気持ちが高揚して、何でもできるような、何にでもなれるような気がします。



『好奇心を“天職”に変える空想教室』 植松 努 著

サンクチュアリ出版

自己肯定感、自尊感情を高める本だと思います。読み進めるごとに自分に対する誇りが高まり、何かに本気で取り組みたいと思えるようになります。また、人生のあるいは生き方の知恵がたくさん詰まっています。中学生や高校生に向けたエールでもあると思います。自分を大切に、生きる本質、学ぶ本質がわかり易く、飾らずに語られています。